

仏教保育

7
July

伝えよう いのち 生命の尊さ ほとけ の心

「第34回全国仏教保育福島大会」への参加お申し込み
「ありがとうございます！ごまます！」

平成28年7月30日(土)・31日(日)、福島県郡山市「ホテルハマツ」で開催の「第34回全国仏教保育福島大会」に600名を超えるお申込みをいただき、心から感謝申し上げます。



福島大会が開かれる「ホテルハマツ」

原発という複合災害からの復興を目指し①環境の回復②農地汚染による農作物への風評③観光客の減少等からの復興・復帰に福島は県民あげて闘い続けてまいりました。その成果は確実に実り、旧に復しつつあります。

更に、原子力に頼らない再生可能エネルギーの導入にも力を入れ、新しい産業の創出を目指して躍進しているのが、福島の今の姿です。それでもなお、今も避難生活を余儀なくされる人も多く、放射能でのダメージを完全に払拭するには至っていません。

そんな環境背景の中にあつて、大会参加人数への不安を抱きながらも、「福島に来てよかった。素晴らしい大会だった」と感動していただけの大会にしたい。その思いだけで準備を進めてまいりました。それだけに、会場が満席に近いくご参加を得たことに感謝しております。

「合掌の姿に花は咲くく被災地(ふくしま)で学ぶ生命尊重の保育」の大会テーマには、快適さや便利さを追求する社会から脱却し、未来を育む子どもたちが笑顔で生きていける社会、いのちを大切にすることを築いていくことの大切さと、生命尊重の保育の必要さを願う思いが込められています。

人間本来の生き方であ

る「向き合う・寄り添う・支え合う」という教えは仏教保育の中に凝縮されており、これまで実践されてきました。

「第34回全国仏教保育福島大会」では、改めて仏教保育のあり方を学び、実践に生かす思いから、原発事故被災地へのフィールドワークバスツアーも組み入れました。皆さんが合わせた掌の中に、ほとけの花を咲かせて欲しいと願っています。

◆福島の「二口メモ」

◎県の面積↓13732平方kmは、北海道、岩手県に次いで3番目の広さ。

◎県民性↓「頑固」徹…江戸時代、県内各地に幕府直轄地と会津藩など多くの藩があり、多極分散型の県土構造となった要因と言われている。



平成28年度 第1回 仏教保育研修会

平成28年6月1日 / 大本山増上寺・光摂殿

テーマ 「魅力ある仏教保育者を育てるために」

講師 山崎啓二郎先生(オフィースJKS代表・法政大学専門職大学院客員教授)



「人材育成の根本」について

「天は自ら助くる者を助く」は一つの真理である。自助の精神が人間の成長を遂げるための礎。その精神がその人間を励まし元気づける。されど、「他を助くる者は、さらに助く」。これが人材育成の根本である。

変革風土と人材育成の土俵づくり

「革新・変革」は既得権益を損なうことに繋がることもあるので、抵抗勢力が必ずいる。「革新・変革」の風土づくりは、トップの継続的なメッセージが必要である。「評価制度」に「革新力」をプラス評価する仕組みなど、人事制度も見直すことが肝要。

子ども・子育て支援新制度が施行されて2年目を迎えました。スタート当初に見せた混乱はやや落ち着いてはいますが、制度のズレは依然として続いているようです。認定こども園も4000園に迫る勢いを示すものの、保育士不足・教諭の人材不足に悩まされているのが現状です。

今回の研修は人材育成のエキスパートとして知られる山崎啓二郎先生をお迎えし、標記のテーマで実施しました。先生はキャノン株式会社の人材育成を長年担当してこられ、成果を高めた指導者として知られていますが、その指針は仏教に学ぶところが基本になっていると言います。その要旨を簡略に報告します。

鬼手・仏心の経営

- ① 仏心、人間尊厳の重視
- ② 心・人間性の追求
- ③ 文化的価値の重視
- ④ 人の論理
- ⑤ 鬼手・緊張感、人の能力重視

- ① カネ・利益の追求
 - ② 文明的価値の重視
 - ③ 資本の論理
- 二律背反の超克で仏心 51% / 鬼手 49%。
- ここで先生は百年(老舗)企業から学ぶ必要を説きます。日本では創業百年以上の企業は5万社。千年以上は19社。五百

は経営活動の経営資源としての「人」についてのマネジメントであり、企業の方から働きかけるものだと、説明されました。

日本型雇用慣行

【メンバーシップ型】

- ① 職務を決めないで会社(企業)のメンバーになる。
- ② いろいろな職務を経験しながら「職務遂行能力」を身に付ける。
- ③ 企業内労働市場でキャリアを形成していく(会社ごとのノウハウ)。

【ジョブ型(欧米・アジアなど)】

- ① 職務で人材を採用する。
- ② その仕事がなくれば解雇。
- ③ 外部労働市場でキャリアを形成する。

管理職インフレの弊害(メンバーシップ型の弊害)

- ① 低成長時代になっても、「管理職としての待遇」インセンティブの基本姿勢を大きく変更しなかった。
- ② ポスト捻出のために組織の単位を小さくする。更に部下を持たない

人材育成の規範的考え方

- ① 自分が学ぼうとしなければ、自分で育とう(成長したい)としなければ、人は育たない。
- ② 「人を育てるために」周りの人間ができることは、その自学の

人材育成の規範的考え方

- ① 自分が学ぼうとしなければ、自分で育とう(成長したい)としなければ、人は育たない。
- ② 「人を育てるために」周りの人間ができることは、その自学の

人材育成の規範的考え方

- ① 自分が学ぼうとしなければ、自分で育とう(成長したい)としなければ、人は育たない。
- ② 「人を育てるために」周りの人間ができることは、その自学の

い管理職を増加させた。

- ③ その結果、「経験の場が小さく」なり、更に「経験の始まる年齢も遅れる」ようになった。
- ④ エリート選別のジレンマもあり、選別できないから配置ができない。配置ができないから、育たないというジレンマに陥る。

人は育つものが、育てるものか

- ① 水場に連れていっても、のどの乾いていない馬は水を飲まない。
- * 「のどの渇きに気づいていない馬もいる」と、比喻を交えて説明された。

【両方のバランスが大事】

- ① 育つのは稲、育てるのは百姓。このバランスが大事。
- * 睥睨同時(そったくどうじ) はずれば育ち、独り立ちしていく。(馬や鳥の子育てを引き合いに出しながら、分かり易く説かれました)

人材育成の規範的考え方

- ① 自分が学ぼうとしなければ、自分で育とう(成長したい)としなければ、人は育たない。
- ② 「人を育てるために」周りの人間ができることは、その自学の



プロセスの刺激をつくり、具体的目標を提示し、成長へのフィードバックをしてあげること」(言うなれば、「人は育てられない、育つのを助けることができるだけ」)

葉を選ぶ(コミュニケーション力の巧拙)。
 ③ 仕事の上で力を合わせなければならぬとき、何度も話さないとベクトルは合わない(人間尊重)。

成長を育む愛情

人は一人ひとり違う(理解の体系が違う)

① 「人材育成」の根幹は「愛情」である。

① 人は、それぞれの地図や虫メガネを持っている。
 ② 相手の理解の体系に合わせて言

② 「愛は関係性欲求」であり、相手に関心があれば育成しようとする意欲も起きないし、相手も心

訃報

仏教保育振興国会議員懇話会会長
 鳩山邦夫先生(元総務大臣) 死去

鳩山邦夫先生のご逝去を悼み
 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

文相、総務相、法相など歴任され、「仏教保育振興国会議員懇話会」の会長として長年にわたって仏教保育の振興にご尽力頂いた衆議院議員・鳩山邦夫先生が6月21日、都内の病院において十二指腸潰瘍で逝去されました。享年67歳でした。

鳩山先生は第一次安倍内閣では法相、麻生内閣では総務相に起用され、きさらぎ会(派閥横断の議員グループ)を率いて安倍首相を支えてこられたことは知られています。また幼児教育の重要性、特に人格形成は幼児期における仏教の教えにあるとして、仏教保育に力を注いでこられました。67歳という早世が惜しまれてなりません。茲に、先生の生前のご功績を称えますと共に、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

公益社団法人日本仏教保育協会理事長

緑谷一雄
 社員一同

に響かない。(人と人との関わりの中で学習し成長。キャリアは個人と組織、取り巻く社会や家族との共生で築かれていく)

人材育成の落とし穴

① 「自分は一人で頑張ってきた」と言う上司のいる職場は、初めて学ぶ人や新人が放置される傾向にある。

② 個人の思考、行動特性や組織風土の劣化に着目せず、「やる気の問題」にする。

③ 「無気力」は性格ではなく後天的に学習されるものである

④ 人材育成という分野の専門性の軽視。(人の能力の見極めや、思考・行動特性を変えたりすることは専門知識を持ち、訓練を受けた人間でなければならない)

人材育成の三要素

【一人ひとりの人材を特徴づける要件は、三層構造になっている】
 第一層 信頼の感情・ベネシックトラスト。

① 幼児期の育成環境で異なり、成人してからは非常に変わりにくい。
 ② 自分が愛情や好意を向ければ、相手もそれに応えてくれる。
 第二層 志向・行動特性は変えられる。

① 新たな課題に挑戦し、その成功体験によって良循環が生まれ、自律的に仕事を仕掛けていくパターン。
 第三層 特定分野の能力知識・ノウハウ。

① 経験や学習によって蓄積される。
 ② 努力次第で、何歳になっても身に付けられる。
 ③ 意識改革は、かなり困難である。

仏教での人間の成長段階(人が育つための知恵)

【六波羅蜜の教え(六つの徳目)】
 布施・持戒・忍辱・精進・禪定・智慧。この六つの教えは、「人が育ち、人を育てるための心のコントロール」。人が育つ組織にある智慧だと、順々と説かれました。

【「忍辱」について】
 【逆境や修羅場に出会った際】
 ① 悲しいことや辛いことがあっても、落ち込まないで耐える。
 ② 他人の「罵り」や「辱め」に対する怒りや失望をこらえ忍び通す精神。
 ③ 自分の思い上がりや洗いを流す。(これらを乗り越えないと「人間成長への足掛かりは、おぼつかない」。乗り越えるためには、上司や家族など周りの励ましがエネルギーとなる)

「精進」について

【へこたれないで最善を尽くす努力をする。決して奢らず、向上心を持って継続していく】
 ① 一人だと失敗で避難され落ち込むときも、上司や仲間の励ましや明るく振舞えば、「どうにかなる」と思える。ユーモアを忘れない。

② 自分を責めないで、まずは「開き直る」ことも必要(自分以上、自分以下でもない自分がいると自負すること)。
 【失敗してもめげぬ勇気や、辛く道を歩ませる原動力は「社会のため、仲間のため、家族のため」という「利他のこころ」で】
 山崎先生は、特に「忍辱」と「精進」について、価値を共有して目標に向かうことの大切さを力説して、お話を締めくくられました。

【お詫びと訂正】

本誌6月号(NO.626)掲載の理事会・運営審議委員会での「菩提樹学園の運営について」の報告記事の『年間700万円ほどの費用がかかり500万円の赤字』は誤りで、『インドにおける諸物価は年々高騰し、菩提樹学園の運営費もこれまでよりも上回る』が正しい表現でした。謹んでお詫びし、訂正いたします。



平成 27 年度 収支計算書

平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

I. 収入の部

単位 円

大科目	中科目	小科目	補正予算額 (A)	決算額 (B)	増減 (A - B)	備 考
基本財産運用益	基本財産利息収入		0	0	0	
特定資産運用益	特定資産利息収入 (公1)		154,700	77,613	- 77,087	
		社団基金利息収入	80,000	40,338	- 39,662	元金 47,592,500 円
		菩提樹学園利息収入	70,000	16,693	- 53,307	元金 32,100,000 円
		持田基金利息収入	700	2,405	1,705	元金 800,000 円
		古屋基金利息収入	4,000	18,177	14,177	元金 5,400,000 円
受取入会金	入会金収入 (公1)	入会金収入	10,000	25,000	15,000	5 園
受取会費	会費収入	会費収入	25,300,000	25,143,000	- 157,000	23,000 × 1.100 施設 複数年分の振込あり
事業収益			22,608,238	19,030,486	- 3,577,752	
	出版収入 (公)		13,310,000	11,312,907	- 1,997,093	
		こどものくに収入	1,530,000	783,283	- 746,717	51,000 × 250 × 12
		ほとけの子収入	5,280,000	4,674,624	- 605,376	40,000 × 11 × 12
		仏教保育カリキュラム	6,500,000	5,855,000	- 645,000	購読料 1,200 施設
	刊行物監修収入 (公1)		2,221,438	2,028,438	- 193,000	
		こどものくに編集	280,000	280,000	0	
		出席カード印税	341,483	341,438	0	フレーベル仏保版出席カード
		保育教材ロイヤリティ	1,600,000	1,407,000	- 193,000	夏の絵本、合掌人形、上製本等
		その他編監修料	0	0	0	
	受講料収入 (公1)	中央講習会受講料	1,576,800	1,606,716	29,916	130 名 × 10,800 円、寄付・お弁当を含む
	生命尊重募金収入 (公1)	生命尊重募金	4,500,000	4,082,425	- 417,575	
	義援金収入 (公1)	義援金	1,000,000	0	- 1,000,000	
受取補助金等	助成金収入 (公1)	年度・制度対策助成金	4,000,000	3,370,000	- 630,000	宗派・本山よりの助成金
受取寄付金	寄付金収入 (公1)	寄付金収入	550,000	550,000	0	鈴木出版 25 保育教材 6 社 30
雑収入			7,605,000	8,299,967	694,967	
	運用利息収入 (公1)		5,000	5,159	159	
	協賛金収入 (公1)		1,000,000	1,000,000	0	協賛金
	広告収入 (公1)		5,000,000	5,207,820	207,820	仏カリ他広告収入
	その他雑収入 (法)		1,600,000	2,086,988	486,988	5 月・1 月懇親会費 関西地区連絡協議会 懇親会費・養成機関連絡協議会懇親会費
特定預金取崩	退職給与引当金	取崩収入	0	0	0	
前期繰越	繰越収支差額	前期繰越金	113,110,196	113,110,196	0	
		合 計	173,338,134	169,606,262	- 3,731,872	

II. 支出の部

大科目	中科目	小科目	補正予算額 (A)	決算額 (B)	増減 (A - B)	備 考
事業費	人件費	臨時雇賃金等	0	0	0	事業のための臨時雇
	調査研究費	研究運営費	200,000	0	- 200,000	
	教育研究奨励費		200,000	206,721	6,721	
		教育研究会補助	150,000	150,000	0	東仏保ゼミ補助
		古屋・持田賞	0	0	0	全国大会未開催年
		仏教保育功労賞	50,000	56,721	6,721	賞状、記念品
		研究発表指定園	0	0	0	全国大会未開催年
		仏教保育精励賞	0	0	0	全国大会未開催年
	菩提樹学園充実		200,000	200,000	0	
		学園視察派遣旅費	0	0	0	旅費補助
		同上資料代	200,000	200,000	0	学園おみやげ (お菓子など)



事業費	大会講習会開催費	7,300,000	6,301,810	- 998,190		
	全国大会開催費	3,800,000	3,700,500	- 99,500	本部 30 万、支部へ 350 万	
	中央講習会開催費	2,050,000	1,428,951	- 621,049	関西地区研修会・夏期講習会・夏期講習会案内印刷	
	仏教保育研修会費	450,000	192,359	- 257,641		
	支部講習会補助	1,000,000	980,000	- 20,000	支部、ブロックで行う講習会補助	
	刊行・出版費	27,500,000	25,500,252	- 1,999,748		
	仏教保育出版費	9,000,000	8,898,000	- 102,000	約 75 万× 12	
	ほとけの子出版費	1,500,000	1,646,280	146,280	原稿、制作費	
	紀要出版補助費	0	0	0	全国大会未開催年	
	月刊仏カリ費	17,000,000	14,955,972	- 2,044,028	製作、発送費	
	各種委員会委託	1,180,000	1,080,233	- 99,767		
	仏カリ編集委員会	200,000	100,233	- 99,767		
	こどものくに編集委員会	280,000	280,000	0	委員会へ	
	ほとけの子編集委員会	400,000	400,000	0	委員会へ	
	教材開発委員会	300,000	300,000	0	委員会へ	
	助成金支出	4,300,000	4,470,969	170,969		
	支部助成金	2,500,000	2,586,900	86,900	支部へ会費 10% 還元(期日まで納入の場合は+ 5% 還元)	
	菩提樹学園助成	1,000,000	1,000,000	0	学園運営費 国際仏教興隆協会へ	
	各種団体提携費	800,000	884,069	84,069	宗派保連、保育団体・関西地区連絡協議会	
	社会貢献・国際交流 (生命尊重)	4,300,000	2,614,221	- 1,685,779		
	菩提樹学園助成	1,000,000	1,000,000	0	学園運営費 国際仏教興隆協会へ	
	義援金	1,000,000	500,000	- 500,000	日本赤十字社 ネパール地震救援金	
	印刷作成費	1,500,000	694,009	- 805,991	いのちシール、チラシ組立封筒含む	
	募金経費	800,000	420,212	- 379,788	郵便振替の手数料、宅配便	
	各種対策費	2,300,000	856,866	- 1,443,134		
	組織強化費	1,000,000	90,000	- 910,000	支部強化経費、支部事業助成	
	制度対策費	1,000,000	568,057	- 431,943	懇話会、顧問弁護士	
養成機関連絡費	300,000	198,809	- 101,191	養成機関連絡協議会		
事業雑費	1,100,000	427,955	- 672,045			
ホームページ運営費	600,000	79,704	- 520,296			
事業雑費	500,000	348,251	- 151,749			
管理費	会議運営費	5,050,000	3,900,699	- 1,149,301		
	理事運営審議委員会開催費	2,800,000	2,687,272	- 112,728	2 回開催 交通費、1 月新年懇親会	
	総会運営費	1,500,000	1,025,820	- 474,180	総会及び 5 月懇親会・総会案内印刷	
	支部長会・参務会開催費	500,000	0	- 500,000	将来検討委員会	
	事務局運営費	250,000	187,607	- 62,393		
	給料手当	4,890,000	4,615,539	- 274,461		
	給料・諸手当	3,700,000	3,490,000	- 210,000	給与+通勤交通費 非常勤分を省く	
	賞与	940,000	928,000	- 12,000	4 ヶ月	
	法定福利費	250,000	197,539	- 52,461	健保、年金掛金補助、労働保険	
	役員費	3,620,000	2,269,575	- 1,350,425		
	旅費交通費	420,000	68,820	- 351,180	交通費	
	通信運搬費	1,500,000	1,123,664	- 376,336	郵券、電話等通信費	
	印刷製本費	300,000	70,200	- 229,800	封筒等印刷全般	
	什器備品費	100,000	0	- 100,000	事務所備品	
	消耗品費	200,000	103,511	- 96,489	文具等	
	借料損料	600,000	517,880	- 82,120	事務機器リース、コピーランニングコスト	
	租税公課	500,000	385,500	- 114,500	消費税等	
	事務所費	2,810,000	2,791,892	- 18,108		
	貸借料	2,160,000	2,160,000	0	事務所賃借料 18 万/月	
	光熱水費	650,000	631,892	- 18,108	光熱水費負担金	
	諸謝金	400,000	43,200	- 356,800		
	事務雑費	管理雑費	500,000	319,486	- 180,514	
特定預金支出	退職給与引当金	退職給与引当金繰入	600,000	600,616	616	
予備費	予備費	予備費	5,000,000	0	- 5,000,000	
当期収支差額	当期収支差額	差額繰越金	101,888,134	113,406,228	11,518,094	
	合計		173,338,134	169,606,262	- 3,731,872	

平成 27 年度 収支計算書 組替表

I. 収入の部

大科目	中科目	小科目	決算額	組替後対応科目 (会計部門)
基本財産運用益	基本財産利息収入		0	
特定資産運用益	特定資産利息収入 (公 1)		77,613	
		社団基金利息収入	40,338	特定資産利息収入 (公 1)
		菩提樹学園利息収入	16,693	同上
		持田基金利息収入	2,405	同上
		古屋基金利息収入	18,177	同上
受取入会金	入会金収入 (公 1)	入会金収入	25,000	入会金収入 (公 1)
受取会費	会費収入	会費収入	25,143,000	会費収入 (50%を公 1、50%を法)
事業収益			19,030,486	
	出版収入 (公 1)		11,312,907	
		こどものくに収入	783,283	出版収入 (公 1)
		ほとけの子収入	4,674,624	同上
		仏教保育カリキュラム	5,855,000	同上
	刊行物監修収入 (公 1)		2,028,438	
		こどものくに編集	280,000	刊行物監修収入 (公 1)
		出席カード印税	341,438	同上
		保育教材ロイヤリティ	1,407,000	同上
		その他編監修料	0	
	受講料収入 (公 1)	中央講習会受講料	1,606,716	受講料収入 (公 1)
	生命尊重募金収入 (公 1)	生命尊重募金	4,082,425	生命尊重募金収入 (公 1)
	義援金収入 (公 1)	義援金	0	義援金収入 (公 1)
受取補助金等	助成金収入 (公 1)	年度・制度対策助成金	3,370,000	助成金収入 (公 1)
受取寄付金	寄付金収入 (公 1)	寄付金収入	550,000	寄付金収入 (公 1)
雑収入	雑収入		8,299,967	
		運用利息収入 (公 1)	5,159	運用利息収入 (公 1)
		協賛金収入 (公 1)	1,000,000	協賛金収入 (公 1)
		広告収入 (公 1)	5,207,820	広告収入 (公 1)
		その他の雑収入 (法)	2,086,988	その他の雑収入 (法)
特定預金取崩	退職給与引当金	取崩収入	0	
前期繰越	繰越収支差額	前期繰越金	113,110,196	
		合 計	169,606,262	

II. 支出の部

大科目	中科目	小科目	決算額	組替後対応科目
事業費	人件費	臨時雇賃金等	0	
	調査研究費	研究運営費	0	印刷製本費
	教育研究奨励費		206,721	
		教育研究会補助	150,000	支払助成金
		古屋・持田賞	0	支払助成金
		仏教保育功労賞	56,721	消耗品費
		研究発表指定園	0	支払助成金
		仏教保育精励賞	0	消耗品費
	菩提樹学園充実		200,000	
		学園視察派遣旅費	0	旅費交通費
		同上資料代	200,000	消耗品費



大科目	中科目	小科目	決算額	振替後対応科目	
事業費	大会講習会開催費		6,301,810		
		全国大会開催費	3,700,500	支払助成金	
		中央講習会開催費	1,428,951	支払助成金 75 諸謝金 62 印刷製本費 5	
		仏教保育研修会費	192,359	諸謝金 7 印刷製本費 11	
		支部講習会補助	980,000	支払助成金	
	刊行・出版費		25,500,252		
		仏教保育出版費	8,898,000	印刷製本費	
		ほとけの子出版費	1,646,280	印刷製本費	
		紀要出版補助費	0	支払助成金	
		月刊仏カリ費	14,955,972	印刷製本費	
	各種委員会委託		1,080,233		
		仏カリ編集委員会	100,233	委託費	
		こどものくに編集委員会	280,000	委託費	
		ほとけの子編集委員会	400,000	委託費	
		教材開発委員会	300,000	委託費	
	助成金支出		4,470,969		
		支部助成金	2,586,900	支払助成金	
		菩提樹学園助成	1,000,000	支払助成金 100	
		各種団体提携費	884,069	会議費 10 旅費交通費 23 支払助成金 36 諸謝費 18	
	社会貢献・国際交流 (生命尊重)		2,614,221		
		菩提樹学園助成	1,000,000	支払助成金 100	
		義援金	500,000	支払寄附金	
		印刷作成費	694,009	印刷製本費	
		募金経費	420,212	消耗品費	
	各種対策費		856,866		
		組織強化費	90,000	諸謝費 9	
		制度対策費	568,057	諸謝金	
養成機関連絡費		198,809	支払助成金 16 諸謝金 3		
事業雑費		427,955			
	ホームページ運営費	79,704	通信費 7		
	事業雑費	348,251	委託費 23 消耗品費 10		
管理費	会議運営費		3,900,699		
		理事運営審議委員会開催費	2,687,272	旅費交通費 135 会議費 133	
		総会運営費	1,025,820	会議費	
		支部長会・参務会開催費	0	会議費	
		事務局運営費	187,607	会議費	
	給料手当		4,615,539		
		給料・諸手当	3,490,000	給料手当 (公 1 : 法 = 8 : 2 で按分)	
		賞与	928,000	給料手当 (公 1 : 法 = 8 : 2 で按分)	
		法定福利費	197,539	給料手当 (公 1 : 法 = 8 : 2 で按分)	
	役務費		2,269,575		
		旅費交通費	68,820	旅費交通費	
		通信運搬費	1,123,664	通信運搬費	
		印刷製本費	70,200	印刷製本費	
		什器備品費	0	消耗什器備品費	
		消耗品費	103,511	消耗品費	
		借料損料	517,880	賃借料 (公 1 : 法 = 8 : 2 で按分)	
		租税公課	385,500	租税公課	
	事務所費		2,791,892		
		賃借料	2,160,000	賃借料 (公 1 : 法 = 8 : 2 で按分)	
		光熱水費	631,892	光熱水料費 (公 1 : 法 = 8 : 2 で按分)	
	諸謝金	慶弔費	43,200	諸謝金	
	事務雑費	管理雑費	319,486	委託費 31	
	社団基金積増	社団基金積増	社団基金積増	0	
	特定預金支出	退職給与引当金	退職給与引当金繰入	600,616	退職給付費用 (公 1 : 法 = 8 : 2 で按分)
	予備費	予備費	予備費	0	
	当期収支差額	当期収支差額	差額繰越金	113,406,228	
			合 計	169,606,262	

期待したいこと

●待機児童問題に絡む認可保育所の増設が乞われて久しい。2015年4月現在で23000人の待機児童がいると厚生省は発表した。認可外保育施設への入所や保護者が勤め先の育児休業を延長するケースなどは数に含まれていない。つまり、潜在的な待機児童は6万人を超えることが明らかにされている。地方都市においても、認可保育所の増設は深刻な問題になっている。都市部では用地の確保も容易ではなく、騒音などの理由で周辺住民の反対等により建設中止や延期するケースもあるという。

●保育士不足もその起因の一つのようだ。施設ができては保育士が足りないのが実情。統計によると、全産業の女性の勤続年数はおよそ10年。それに対して保育士は8年弱。賃金では全産業の平均33万円に対して保育士は22万円。賃金の低さも人材不足に拍車をかけているという。総合的な対策を期待したい。

●日本の高齢化はどんどん進み、高齢者向けの社会保障費は増え続けているのは必至。一方、子育て中の若い世代には社会保険料や税金の負担は大きいのしかかってくる。保育士待遇の改善、保育所増設は未来への投資であろう。今夏の参院選では、社会保障や子育て関連の予算見直しを議論されることを期待して止まない。

事務局日誌

- 6 / 1 「第5回社員総会」「平成28年度第1回仏教保育研修会」(大本山増上寺・光摂殿)
 - 「懇親会」(ザ・プリンスパークタワー東京)
 - 6 / 3 こどものに「チュリッパ版」編集会議
 - 6 / 9 「第34回全国仏教保育福島大会」打ち合わせ
 - 6 / 16 「仏カリ」「仏教保育」編集会議、事務局会議
 - 6 / 28 「第24回参議院議員通常選挙当選祈願法要」
- (大本山増上寺・安国殿)

編集後記

■研修の夏がきました。日仏保恒例の「第84回夏期仏教保育講習会」(7月21日・22日)に始まり、「第34回全国仏教保育福島大会」(7月30日・31日)へと引き継がれていきます。各宗派主催の保育大会や講習会、研修会も夏の到来を告げます。参加の先生に心からエールを送りたいと思います。■今夏は3年に一度の参議院議員通常選挙があります。選挙権年齢が「満18歳以上」になったことで、およそ240万人の有権者が誕生します。「政治的中立性」を授業に盛り込んだ高校もあるようですし、政党の中には主権者教育の勉強会を行うなど、水面下では新しい票田獲得に向けての動きも活発のようです。若い主権者の目が参院選にどのような判断を下すのか、興味が尽きません。■保育所増設に不同意を唱える地域住民の集会の話題をこのところよく耳にします。「うるさいから」というのが大きな理由のようです。無認可の保育施設がやたら増えるのは同意できかねますが、「保活」の大変さが子どもを産むことを躊躇させているのも事実のようです。日本の未来を冷静に考えてみたいですね。

(O・I)

公益社団法人 日本仏教保育協会
〒105-0011東京都港区芝公園4-7-4
ホームページ <http://www.buppo.com/>
電話 03(3431)7475・FAX03(3431)1519
発行人 緑谷一雄 編集人 五島 満
毎月1回1日発行(1部315円)



仏教保育綱領

- 慈心不殺 生命尊重の保育を行なおう
- 仏道成就 正しきを見て絶えず進む保育を行なおう
- 正業精進 よき社会人をつくる保育を行なおう

紙芝居 おしやかさま 全4巻

○おたんじょう(12場面) ○四つの門(13場面) ○おさとり(16場面) ○ねはん(12場面)

セット定価 本体¥20,000(8%税込¥21,600)※分売不可

脚本・絵/諸橋精光 画面38.2x26.5cm 豪華化粧箱入り

保育現場や布教活動の場で幅広くご利用いただけるよう、おしやかさまのご生涯を4巻に分け、幼い子どもでも集中力を保てる適度な場面数で仕立てました。



ご注文
お問い合わせ
すずき出版